

えっ!?そんなことできるの?...

Thank you

暗闇に! ライトペインティング

花火大会やお祭りなど、様々なイベントが盛り沢山なこの季節。「思い出作りに」と、カメラ片手に写真を撮る機会も多くなるのではないのでしょうか...。そこで、今回は、カメラにちなんだ面白い遊び、「ライトペインティング」を御紹介したいと思います。

DE(で) 絵を描こう!

ライトペインティングは、実はとってもカンタンなんです。ライトをペンだと思って、空中に思い切り好きな絵を描くだけ! ではその工程を順にご紹介しましょう。

STEP 1 【用意するもの】

- ① デジカメ
- ② ライト
- ③ カラーセロハン(ファン)
- ④ 三脚

- ① ライトペインティングの撮影に使用するデジカメは、シャッターを数秒間開けっ放しにして撮影する必要があるため、シャッター時間が自在に変えられるものであればOKです。(カメラに「マニュアル設定モード」があり、シャッタースピードをB(バルブ)に出来るタイプであればOK)
- ② 撮影に使用するライトは100円ショップで手に入ります。
- ③ 色も1色じゃ寂しい...という方は、ライトにカラーセロハンを被せることをおすすめします。
- ④ カメラを固定できるものがあればOK。

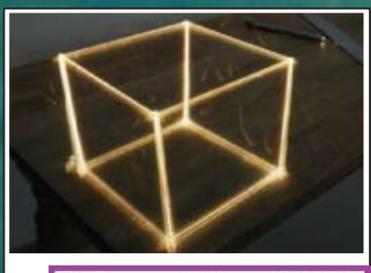
STEP 2 【作り方】 撮影時の注意点: ※必ず三脚が何かでしっかりとカメラを固定してください! でないと光がブレてしまいます。



1. カメラを3m~4.5mくらい、あなたが絵を描いている姿をパッチリ撮影できる場所に設置します。
2. カメラのシャッタースピードをバルブ、もしくは通常より長い露出時間(5秒・8秒・10秒・15秒など)に設定します。
3. ライトで絵を描き、その様子を撮影します。
4. 完成! モニターで撮影画像をチェック!



天空メンバーは、take7で描けました!!



街中に溢れる何気ない日常を落書きすることも!

天空広告のシンボル「星」も、スラスラ〜

こんなことだって...もちろんカメラハズ波も可能

デジカメがなくても、iPhoneがあれば大丈夫!

iPhoneカメラで長時間露光撮影ができるカメラアプリ



「BulbShooter」

このアプリは、iPhoneカメラを使用して128秒まで、シャッター時間を自在に変えられるカメラアプリ。
 使い方: ①アプリを起動するとカメラが立ち上がるので、画面下部のスライダーで撮影する時間を決定。
 ②Take Picture ボタンで撮影を開始するだけ。解像度は320x426。

ダウンロードは「AppStore」より「BulbShooter」で検索! 「BulbShooter」価格は115円。開発: Chime & Beeper Software



ライトペインティングは、絵の大きさや位置を変えながら描いて(撮って)いき、それを1つの動画に並べると、(連続再生)まるで光が動いているかのように見せることができるんです。巻ではそれを「pikapika」と呼ぶそうですが、「描く(撮る)だけじゃ物足りない!」という方は、ぜひお試しあれ!! 詳しくは、「pikapika」で検索!

最初は空中に絵を描くのが意外とムズカシイかも? 天空メンバーもはじめはみんな手こずってました。でも、この楽しさは、やってみれば分かります! さあ、今年の夏もそろそろ終わりがけ!? ライトペインティングであなたの思い出を華やかに飾ってみてはいかがでしょうか!?

摩訶不思議な錯覚の世界
 こっ、こいつ、
 動くぞっ...

